

あけまして

おめでとうございます

昭和61年元旦



人口のうごき

昭和60年12月1日現在

住民基本台帳人口	前月に対する増減
男 2,004 人	△ 1 人
女 2,198 人	2 人
計 4,202 人	1 人
世帯数 1,452 戸	0 戸

今年は寅年

「虎は千里を行って、千里を帰る」ということわざがあります。一般には、「勢いの盛んなこと」の例えとして用いられますが、もう一つ別の解釈があるようです。さて、虎は何をしに千里の道をあわてて帰るのでしょうか。

実は、虎は自分の子供のことが心配で戻るのだといひます。恐ろしいものの代表のように言われている虎ですが大変に子供を大切にするのだそうです。

新年のあいさつ



田代町長 松田 進

町民の皆様、ふるさとを離れ異郷の地で暮らしたの皆様、明けましておめでとうござい

ます。輝かしい昭和六十一年を迎え皆様方には、新しい希望と期待をもって新春をお迎えのことと心からお喜び申しあげ

ます。昨年中は町議会をはじめ町内各機関、団体ならび町民の方々の積極的な指導と鞭達を賜りましたことに對し心から厚くお礼を申しあげます。

顧りみますと昨年九月前町長猪鹿倉義則殿の突然のご逝去に接し悲しみの越年でありました。さぞかし故人も黄泉の地で安らかに眠りの事と拝察申しあげ、謹んで町民の皆様とともに冥福をお祈り申しあげます。

また、八月三十一日は気象観測史はじめてといわれた台風十三号が九州南部を襲い、田代町も住家、非住家をはじめ農作物、山林に多大の被害

が発生し、被害額は三億六千万円にものぼりました。

私共の町の基幹作目である緑茶については冬期から春にかけて気温が高く降雨量も多く比較的恵まれた気象条件のため茶芽は順調に萌芽しま

したが、四月一日の晩霜により大きな被害が発生しました。一番茶については安定相場で推移して、品質による上下の価格差が大きく防霜対策の確立が重要視されます。

早期、普通水稲は昨年の出荷限度数量を超過したのは五年ぶりの実績であり、良い成績を残しました。

仔牛の販売については平均価格は二十六万九千円でした。特に仔牛価格については長い間低迷を続けていましたが上向きに転じ生産農家の生産意欲もわずかながら助長しつつあり、今一段の努力を必要とします。

むらづくり一品運動の推進作物の「キヌサヤエンドウ」は確実に定着の方向に進み昨年度一〇アル当り一トンの数量をあげられた農家もあり今後田代町が避けて通れまい園芸作への明るい実績が確立された事は誠によろこばしいこととあります。

本町にも施設園芸の団地が大根田、中村、山下、猪鹿倉、中尾、新田の各団地で三ヘクタールに達しました。

むらづくり一品運動はようやくスタートしたばかりですが、田代町にみなが「活力」を「実力」とした成功させるには、まだはるかな道のりであり苦難の道であります。林業については木材需要をめぐる環境は依然として悪化の一途をたどっています。

しかしながら本町の長期的林業振興から考えて、除伐、間伐事業の推進は強力に促進しなければなりません。間伐材の利用については町森林組合をはじめ業界と一諸になつて取り組み、今年更にチップ（ノコクズ）生産工場の建設が山村振興事業により行われることは雇用機会の場と間伐材利用による林業収入に明るい期待が寄せられています。

本町は交通事故のない住みよい町づくりを町民全ての協力で進めてまいりましたが昨年度交通事故「〇」二〇〇〇日達成寸前で挫折しました。これからの人命尊重の精神ののち、町民ひとしく良識ある社会人として自覚をもち、交通のきまりを守り意識

の高揚に努め、交通死亡事故皆無一〇〇〇日を目指して邁進いたしましょう。

又、昨年十月一日をもって実施された国勢調査の速報によりますと、本町の世帯数一四七六世帯、人口四〇五〇人で五十五・六十年の減少率は七・五％とやや鈍化しているものの依然として過疎の町です。過疎地域振興計画に綱維されている各種事業の推進、むらおこし事業の施策を積極的に進めてまいります。

ご承知のとおり本町の経済の中にあつて農業、林業を中心とする商工業の生産活動並びに経済活動は、本町の経済発展と豊かな町民生活の実現に重要な役割りを果たしています。そこで今後更に諸施策を強力に推進し、なかでも過疎地域振興事業、農村基盤総合整備事業、団体営土地改良事業、畜産基地建設事業、拠点地区むらづくり事業、教育、福祉の向上に係る事業等、町民の深いご理解と積極的なご協力を賜り、町民所得の向上に努めてまいります。

なお肝属南部国営農用地総合開発事業については、昭和六十一年度から事業実施の運びになりますので関係者各位

ほ場整備進む!!

現在大浦地区と山ノ口地区においてはほ場整備が進められています。農地の整備によって水稲をはじめ各種農作物の生産に意欲がわいて来ます。



(山ノ口地区)

年頭のあいさつ



議会議員 右田 始

あけましておめでとうござい

ます。輝かしい新春を迎え町民の皆様御健勝を心からお慶び申しあげます。

戦後四十一年の節目となった昨年は、国内外の政治、経済社会等の各分野において大きな出来事が多かった年でありました。特に国民生活に影響の大きい我が国の経済は、一応景気は回復されたが後半になって円高ドル安が進行し新たな景気の先行不安が出はじめ、内需振興策等の対応が迫まられております。

本町においても猪鹿倉前町長のご逝去に伴う町長選挙において、松田新町長が誕生しました。

議会においても総務民生、経済建設各常任委員が四月で二年の任期を終り、新たな構成により、それぞれの委員会活動が展開されております。また台風十三号の急襲により森林立木や各種施設等に大

きな被害を受けましたが、幸いにして早期水稲、葉タバコ等は天候に恵まれ豊作となり台風災害も免かれ前年を上廻る結果となっております。

茶は最も期待の大きい一番茶が晩霜により多大の被害をうけました。

畜産関係では、豚価が低迷しましたが肉用牛は年度後半の価格回復によりブロイラーは生産量の増によりそれぞれ前年を上廻る結果となりました。

その年の気象状況や農畜産物価格の変動が農家経済に及ぼす影響が大きいことに鑑みその安定と対策の促進を痛感いたします。

本年は昨年に引き続き国の補助金の削減、補助率の引き下げ等本町財政をとりまく情勢は一層の厳しさを増すことは必至と考えております。

このようなことから、昨年の六月定例議会で議決、設置された、行政改革推進委員会が審議決定される田代町行政改革大綱の積極的な推進を図り行政の簡素合理化に努め、効率的な行政を推進させると共に、投資的事業等の拡大導入により行政水準の向上に一層の努力を傾注しなければなら

りません。なお懸案となつております高校跡地の活用については、その実現のために執行部、議会一体となつて渾身の努力を続けてまいります。

本町が推進している村づくり一品運動の三品目の目標達成のためには、多くの難問を克服しながら成果につながらなければなりません。

地方経営が厳して競争時代を迎えている今日、昨年の行われた国勢調査の結果では本町の人口は四千八台を維持できたものの減少率は七・五％と県下の高位を示しております。昭和六十一年が希望をもつて定着する若者を増加させるべく本町の活性化促進の施策が進展する年となるよう祈念して年頭のあいさつといたします。

昭和六十一年四月から

国民年金が

変わります

◆国民年金に任意加入されている皆さんへ
あなたが加入されている国民年金は、昭和六十一年四月

から改正されます。今回の改正で厚生年金または船員保険の加入者である夫から扶養されている妻は、国民年金の保険料を納めなくても老齢基礎年金等の年金を受けることができるようになります。これらの国民年金の保険料は、その方の夫が加入する年金制度からまとめて納められることとなります。

◆役場に届出をお忘れなく

社会保険庁では、昭和六十一年四月からの改正にそなえて、現在国民年金に任意加入されている方のうち、夫が厚生年金または船員保険に加入されている方で、その夫から扶養されている方に、第三号被保険者として取り扱われるために必要な届出をしていただくことになりました。この書類は六十一年十月末に現況届が送付されているはずですので、所要事項を記入し、夫の勤務先で確認を受けたうえ、役場年金係へ一月三十一日まで提出してください。尚、届出用紙が来ていない人は届出が必要ですので、役場年金係へ連絡し届出を済ませてください。この届出を忘れず、引き続き保険料を納めていただくことになったり、将

来年金を受けられなくなったりしますので十分注意してください。

また、今回の改正には共済組合が含まれていないので届出をする必要はありません。

◆障害年金受給者の皆さんへ
国民年金法の改正にともない、障害年金の受給権者が、お子さん（昭和四十三年四月二日以降に生まれた子又は昭和四十一年四月二日以降に生まれた一級、二級の障害の状態にある子）を扶養しているときは、送付されてきた加算対象者現況届に所要事項を記入のうえ一月三十一日までに役場年金係まで提出してください。

◆国民年金の加入について
現在、厚生年金や共済組合等の公的年金に加入していない20才以上60才未満の人は、必ず国民年金に加入しなければなりません。もし、このまま加入しなければ将来年金（老齢年金・障害年金・母子年金等）が受けられなくなり、そので役場年金係に届け加入の手続きをしてください。尚、転入されたり、社会保険がなくなったりして届出を済まされていない方も届出てください。

田代中学校の校門を入ると右側に緑の木々があります。これは、昭和五十年前後から在職した職員が、心を落ち

職員の森



つけ静かな環境で勉学でき、学校をきれいにしようとする気持ちから植えられたものと言ひ伝えられています。

森の木には「サザンカ」、「イヌマキ」、「モチノキ」、「ヤマモモ」、「クロガネモチ」、「マテバシイ」等十種以上の木々が植えられています。

本年度は学校緑化の部で優秀賞に入賞しましたが、これらの木々も含まれています。

タコあげは

電線のない所で!!

九州電力からお願い

タコあげは、電線のない広いところであげよう。

タコを取ろうとして電柱にのぼったり、電線にかかったタコを竹ザオなどで取るのは大変危険です。またそのために停電してみなさんに大変迷惑をかけることがあります。

もしタコが電線にかかったら、絶対自分でとらず、最寄りの九州電力へご連絡ください。



自然教室生の皆さん

第三回自然教室生 博物館見学!!

これまで田代町の児童生徒約五〇人が、町内の植物名や昆虫名を調べて学習し、二回目の学習会では正しい採集の仕方や標本の仕方について学び、自然科学に興味を持ちはじめてきました。

第三回目の学習は、鹿児島市の博物館で植物、昆虫の採集物の見学をしてこれまでの学習のまとめができました。

この学習会に参加した皆さんは、よい体験ができたと思います。色々の都合で参加できなかった方は、次会に参加してくださいようお願いいたします。



清掃活動のようす

!!サンライフ年末地域 清掃活動を実施!!

あすの田代を創る町民運動推進協議会(美しい郷土づくり部会)では、地域環境美化を図り住みよい町づくり、地域づくりをしようとする意識を高めるために十二月二十二日(日)に一斉に小組合長さんを中心とする多くの小組合で実施されました。この日実施されなかった小組合では別の日に実施されたとのことで、町内すべてが美しくなりました。

美しい郷土づくり部会から厚くお礼申しあげると共に、これからも積極的に環境美化につとめてください。

青少年団体 育成者研修会

各地域子ども会育成者正・副会長及び高父母連部役員等の総勢120人余りが集まり、冬休みを前にした研修会が実施されました。

はじめに、映画「やる気を育てる」を鑑賞してもらいました。

続いて、講演「現代青少年育成の諸問題」について鹿屋市立西原小学校長の松本宗雄先生にいただきました。

高度成長のひずみで発生してきた青少年非行問題とふれながら、どの子も非行に走る要素を持っているが、それぞれが発生しないのは、学校、家



新年を迎えて

教育長 池田 一雄



輝かしい新春を心からお祝い申し上げます。本年は寅年ということで、田代町の発展が虎の勢いにあやかることを期待いたしているところでもあります。学校において三学期は、一年のしめくくりということで仕上げの時期であります。六〇年度は各学校ともそれぞれの学校の教育目標の達成に努力し、成果をあげてきたところであります。特に学力水準の向上、郷土教育の充実、そして、校内研修に力を入れてきたところであります。

田代小学校では、二年前の山坂達者研究推進校の指定を受け研究をすすめて参りましたが、過日この研究の公開をいたしました。その指導と研究のユニークさに非常な好評を得ました。町内のそれぞれの学校が職員一致協力して学校教育の充実のために努力をして参りますが、学校が開かれた教育の場として町民の方々のご協力をお願い致します。

なお郷土教育の一環として、また、郷土芸能の継承として小学生が花瀬太鼓を練習し、

立派に成功させてくれました。今日、人生八十年代を迎え平均寿命がますます延びて参りました。限界寿命九十二才ともいわれます。この長寿を楽しく、意義あるものとして全うするためには、頭と身体が健康が求められます。このような意味から、生涯学習、生涯体育ということが強く叫ばれているところであります。

町民の皆様方にいろいろな学習の場や体力向上のための場を設定して、学習の場を作って参りました。また学級、講座、教室等の開設、その他の行事等にもっと積極的に多くの方々のご参加がほしいと思います。生涯学習、生涯体育などは町民自らの手で進められるものでなければ成果はあがらないと思います。町民皆様方の積極的な参加をお願いいたして田代町の社会教育の進展を図って参りたいと思います。

堆肥をつくろう

大原小学校

大原小学校では、毎年、仲よしの時間を使って、学校近くの山に落葉拾いに行っています。何のためかというところ、もちろん自家製の堆肥を作る



「こんな木なんかへっちゃらだ!」

ながら目的の地へ急ぎました。いよいよ目的の地へたどり着くと、児童は争って用意してきた肥料袋に落葉をつめ始めました。小枝が混ざらないよう一枚一枚木の葉をむしる児



「分けてあげるよ」

童もあれば、とにかく袋を一杯にすればいいとばかりに辺りの落葉をかき集める児童もあり、いつもは静かな山の中もこの日はかなり大にぎわいでした。

こうして集められた落葉は肩や背中にかつがれたり、引きずられたりしながら、体育倉庫裏にあるコンクリートに囲まれた堆肥場に、次々と積みあげられました。きっと、来年は、私達の目を楽しませてくれる花々のための素晴らしい養分になってくれることでしょう。

自然の営みを知ることにより、児童の心にも自然を愛する優しさが芽生え、育っているのではないのでしょうか。



「こんなにとれたぞ」

「県学校保健優良校に 入賞して」

田代中学校

今年も、県学校保健優良校に入賞しました。

このことは、生徒保健委員を中心とした活動と、職員の共通理解があったからこそだと思います。田代中の保健活動は、給食後の歯みがき、業間体育、遠方凝視板の利用、30cmものさしによる姿勢指導などを通して、学校保健が軌道に乗って充実してきたからだと思います。

今後の課題としては、生徒保健委員、自らの活動と学校緑化にちなんで、チリ一つ落ちていない田代中になってほしいと願っています。



小園しげり

新成人になって

成人式を迎えて、大人への第一歩を踏み出すことが出来た。今、振り返ってみると二十年前が早かったような気がします。しかし、小学校、中学校、高校、そして



原ノ後 亮

成人の主張というよりも私の主張と言った方がよい。私の思うところは、私の思っていることを申し上げてみたいと思います。成人の日、いよいよ大人の仲間入りですが、

現在に至るまで、実にさまざまな情景が思い出されて来ます。楽しかった事、苦しかった事、色々な出来事がありました。又、これまでに多くの方々のご指導を受けてきました。ことに心から感謝しています。私が成人を迎えて思うことは大人としての自覚、そして責任です。大人としての自覚というのは、今までは未成年者だから親から保護され、社会から保護されて、いわば卵のカラに包まれていたわけです。しか

し二十歳をむかえた時、その卵のカラは破れてしまったのです。言いかえれば、自由になったと解釈しがちですが、自由だからこそ自分自身をばさめなければならない。自分の行動には自覚をもつべきです。自覚をもつということは必然的に責任をもつということになると思います。そして自分の意見をはっきり言えるようになりたいと思います。また他人の意見もしっかり聞き、どれが一番良いことなのか、正しいことなのかを見きわめられるしっかりした目

と心をもちたいものです。社会へ出て二年が過ぎようとしています。いろいろな人に出会い、学ぶべきことがたくさんありました。今までは自分はまだ未成年だからと、か、子どもだからとか思い、関係ないと思ってきました。でもこれからはそうはいきません。これから私達は多くの先輩方から多くのことを学び、成長していくのです。そのためにも多くの人と知りあい、人間関係も広げていくことが大切だと思います。

まず。先輩の方々の御指導をよろしく願います。
(下) 農業

交通事故防止に努めよう

(田代町交通安全協会)

昨年は交通事故死亡事故0、二〇〇日達成寸前で挫折しましたが、心を新たにこれから一〇〇〇日達成に向かって町民が一体となって努めましょう。死亡事故をはじめ各違反行為をなくすように一人一人が心がけ注意し事故のない明るい町づくりに努めましょう。



優良子供会で受賞(原沢子供会)

庭及び地域社会が、青少年の健全育成にみんな関心を持って来たために、かなり防犯とができていたことを訴えられた。今後は、地域の子供会等では、異年齢を構成して子ども会活動をさらに盛んにしていく必要性が話された。講演の後、町子連、高父母連に分かれて、それぞれの取り組みについて分科会を開きました。町子連の分科会では、賞状の伝達式がありました。肝属地区子供連絡協議会より優良子供会として、原沢子供会が、花いっぱい運動でよく活動をした西中郡子供会がそれぞれ受賞しました。皆さんの今後のご活躍を期待します。

青少年ふるさと大会へ 高校生諸君!! ふるって参加を!!

学生会の会員としての意識を高め、且つ卒業していく会員を激励すると共に相互の連絡協調を図りながら地域に根ざし進んでふるさとづくりに寄与できる高校生を育てることを目的に六十一一年一月六日(月)、町開発センターで実施されます。町内に住む高校生会員の皆さんと町内の中学三年生の皆さんは、全員参加して下さい。なお、当日の主な活動内容は、次のようになっています。◎ 新春クイズ作戦、午前七時三十分より八時三十分◎ 卒業生を送る会(九時)



花いっぱい活動で受賞(西中郡子供会)

後輩に望むこと

落合 和人

僕が後輩の皆さんに望むことと言っても、僕自身がまだまだ未熟です。何を言ってもいかわかりませんが町学生会で経験して学び得た事の中から学生会に望む事を一言述べてみたいと思います。僕は以前一年間、町学生会々長としてやりましたが、当初このような大役を任せられ引き受けた時は正直いって無事やっけて行くか心配でした。しかし、他の役員や会員の皆さん方の協力や励ましの



花瀬太鼓に励む学生会の皆さん

◎ ふるさと講演会(十時十一時)などが予定されています。

新春スポーツ行事案内

★ファミリーバドミントン大会

一月十二日(日) 大原中体育館を会場として開催します。受付は当日会場で九時三十分までとなっています。

★町民体力づくり・マラソン

一月二十六日(日) 町民の健康づくり、体力づくりをねらって、第四回目のマラソン大会を実施します。

最近ランニングを愛好する人が増えてきています。走ることが健康づくりにたいへんよいといわれていますが、老若男女を問わず参加できる魅力があります。

奮って参加して下さい。おねがいします。

◎ 距離と申し込み

◎ 3 kmの部

小学生四年生以上、中、高校生女子、壮年(三十才以上)

◎ 5 kmの部

中学生男、高校生男、青年男 壮年(三十才以上)

四十代・五十代の方で2 kmに挑戦してみたい方がいましたら申し込み下さい。参加人数が十人以上の場合、実施してみたいと考えています。

◎ 申し込みは、一月二十日までに教育委員会へ

◎ 参加者は、一日保険に加入していただきますので一人につき百円を添えて申し込みのようになっています。

昭和六十年の主な出来事

〔一般行政〕

- 猪鹿倉義則町長死去
- 松田進新町長誕生
- 花瀬大橋完成
- 台風十三号急襲被害甚大
- 元町長、原順氏春の叙勲で熟五等双光旭日章受く
- 六十年代産タバコ大豊作
- 畜産基地入植者経営開始
- 農畜産物販売高30億円突破
- 町道鳥沢、瀬戸口線、中崎、表木線改良舗装工事完成
- たけのこ加工工場完成

〔教 育〕

- 鶴園子ども会全国子ども会連合会表彰
- 南大隅高校田代分校生徒募集停止
- 田代中南日本花だんコンクールで連続特選入賞
- 西大原子ども会県優良少年少女団体表彰
- 田代小県指定山坂達者実践推進校研究公開
- 大原小南部地区複式学級指導法研究会開催
- 花瀬子ども太鼓誕生
- 西中郡、原沢子ども会地区大会表彰
- 第四回からいも交流実施



(出荷をまつカボチャ)

抑制カボチャ計画以上の二十五トンを出荷

今年の抑成カボチャは、台風十三号で被害を受けたところもあったが、防風対策を行い、しかも欠株になった所は追いまきして肥培管理に努めた結果、平年作以上の豊作になった。今年は秀品率が向上し肝属団地の銘柄で東京市場を中心に冬至カボチャとして有利販売されました。出荷量も当初十八トンの計画に対し二十五トンの出荷となり生産者は選果場でエビス顔で南瓜談義に花をさかせていました。農協では春作の推進を行っています。苗の準備が必要です。ので早目に営農生活課へ申込みください。

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません



趣味……料理づくり
特技……生花・洋装
好きなタイプ……男らしい人
生活信条……いつも笑顔で



入佐美智子さん (24才)
(麓住宅)

よか
おごじょ!!

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません



〔篤志寄附金〕

田代町社会福祉協議会

さきに御逝去された御遺族より、香典返しを廃止され、社会福祉協議会へ多額の御寄附を賜りました。厚くお礼申しあげると共に御冥福をお祈りいたします。

平原時夫様